令和4年2月24日

大和町長 浅野 元 殿

大和町総合計画審議会
会 長 鈴木 隆一

大和町第五次総合計画の策定等に係る審議について（答申）

令和2年8月6日付け和まち第160号で大和町長から諮問のあった大和町第五次総合計画について審議した結果は下記のとおりです。

なお、令和4年度を初年度とする新たな総合計画を推進するための諸施策の展開に当たっては、広く計画の周知と浸透を図り、町民・企業・各種団体などの町の構成員、さらには町外からの通勤者などを含む関係者（以下「町民等」という。）の理解と参画を得ることに積極的に取り組み、町民等総参加により計画の着実な実現を図っていただきたい。

記

1. 審議の経過は次のとおり

(1) 令和2年度第1回総合計画審議会（令和2年8月6日（木））

- ・町長より本審議会に諮問書が提出され「大和町第五次総合計画の策定」及び「大和町まち・ひと・しごと創生総合戦略の内容の評価及び検証」について意見を求められた。
- ・深刻化する人口減少など社会が大きく変革していく中での計画策定であり、教育や子育て分野への期待や、課題を直視して将来に繋がるような計画作成への期待に対する意見があった。

(2) 令和2年度第2回総合計画審議会（令和2年11月16日（月））

- ・大和町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和元年度事業実績の評価・検証のほか、大和町第五次総合計画骨子に対する議論が行われた。
- ・社会の大きな変革に対応していくための改訂であり、まちづくりの方向性を重視することとして、地域による児童数の偏りや図書館等の学習施設・機会の充実、次代を担う子どもたちの考えの尊重などが求められている教育分野、自然との共生といった自然環境分野についての意見があった。

(3) 令和3年度第1回総合計画審議会（令和3年8月5日（木））

- ・大和町第五次総合計画基本構想（素案）に対する議論が行われた。
- ・基本構想（素案）について、読みやすさの視点からの文章の構成や表現の指摘や、策定後の町民とのかかわり、若者へのアピールなどに留意すべきという意見があった。
- ・人口減少・超高齢化やSDGs、デジタル化への対応をはじめ各分野での課題認識の甘さや、教育・自然・交通インフラなどの重要性についての意見があった。

(4) 令和3年度第2回総合計画審議会（令和3年12月1日（水））

- ・大和町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度事業実績の評価・検証のほか、大和町第五次総合計画（素案）及び第五次国土利用計画（素案）に対する議論が行われた。
- ・基本構想（素案）について、教育分野の課題意識がより不明確になっているとの意見があった。
- ・基本計画（素案）については、町内外にアピールするための柱となりうる取り組みの重要性が指摘され、代表的な事業が記載されていた方が町民に具体的に伝わるのではないかとの意見があった。また、重点プロジェクトに掲げる指標について、指標の内容及び数が不十分との意見があった。

(5) 令和3年度第3回総合計画審議会（令和4年2月24日（木））

- ・町民説明会及びパブリックコメントの結果を踏まえ、追記修正した大和町第五次総合計画（原案）及び第五次国土利用計画（原案）に対する議論が行われた。
- ・パブリックコメントに対する町の対応・方針について丁寧な回答に努めるとともに、町民説明会なども含め、反映できなかった意見等を真摯に受け止め、今後のまちづくり等において十分に配慮し、対応などを示していくことが求められた。

2. 計画推進にあたっての留意事項は次のとおり

(1) 計画の町民等への周知と新たなまちづくりへの気運の醸成について

計画目標の達成には町民等の理解と各種施策展開に際しての積極的な参画が欠かせない。

については、総合計画の町民等への周知と浸透を図るための方策を検討実施し、町民等総参加による新たなまちづくり推進への気運を醸成すること。

(2) 実施計画の策定について

実施計画については審議の対象とはならなかったが、実施計画は重点的に取り組むべき施策・事業を極力絞り込み、その内容・目標・役割分担等を具体的に示したものとし、今後の進行管理にも資するものとする。

(3) 進行管理の実施について

計画の実現のためにはその進行管理が極めて重要となるが、基本構想、基本計画で掲げられている目標とする指標はごく限られたものであり、進行管理のための指標としては不十分と言わざるを得ない。

については、上記（2）でも記述したとおり、実施計画の内容を充実させるとともに、進行管理のための体制も整えて実施し、その結果は公表すること。

また、計画の実施に当たって表出してくる地域の課題や地域づくりの方向性について的確に把握し後期計画に反映していけるよう、前期計画期間中から町民等の参画を得て議論や検証を行うこと。

(4) 計画の策定過程において寄せられた町民等からの意見、要望等について

計画策定過程では、町民説明会、パブリックコメント、アンケート調査、当審議会での審議等々を通じて多くの意見や要望が寄せられ、また、課題も示されているが、現時点の計画には反映されなかったものもあった。

しかし、今後まちづくりを進めるに当たり見逃してならない貴重なものも多く、決して一過性のものとしてはならない。

については、寄せられた意見・要望・課題を直視し真摯に向き合い、各地区等の状況にも配慮しながら、継続して検討を重ねて欲しい。

また、何らかの形で町の対応方針を明らかにして欲しい。